

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療秘書検定対策Ⅱ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
医療秘書や医療事務職の業務を行う上で必要となる医学知識を学び、医療秘書技能検定試験3級の合格を実現する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点：20 % 授業態度や提出物に対する評価点：10 % 期末試験の得点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト = 建邦社『臨床医学Ⅰ－内科』・『臨床医学Ⅱ－外科』・『検査・薬理学』 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントの内容を小まめに復習したり、テキストを自分なりにまとめてみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
途方もない分量に思えても、心を開き、好奇心を持って接し続けていけば、必ず制覇できる内容だと思います。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント		
		各コマにおける授業予定	外傷・腫瘍・先天異常 中枢神経系とその疾患・検査法・治療薬			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。	
		各コマにおける授業予定	外傷・腫瘍・先天異常 中枢神経系とその疾患・検査法・治療薬			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系とその疾患・検査法・治療薬			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。	
		各コマにおける授業予定	呼吸器系とその疾患・検査法・治療薬			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。	
		各コマにおける授業予定	循環器系とその疾患・検査法・治療薬			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	循環器系とその疾患・検査法・治療薬		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	消化器系とその疾患・検査法・治療薬		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	消化器系とその疾患・検査法・治療薬		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	内分泌系とその疾患・検査法・治療薬		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	内分泌系とその疾患・検査法・治療薬		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系とその疾患・検査法・治療薬		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系とその疾患・検査法・治療薬		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	泌尿器系とその疾患・検査法・治療薬		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	運動器系とその疾患・検査法・治療薬		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	これまでの復習
		各コマにおける授業予定	運動器系とその疾患・検査法・治療薬		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療秘書検定対策Ⅱ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
医療秘書や医療事務職の業務を行う上で必要となる医学知識を学び、医療秘書技能検定試験3級の合格を実現する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点：20 % 授業態度や提出物に対する評価点：10 % 期末試験の得点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキスト = 建邦社『臨床医学Ⅰ－内科』・『臨床医学Ⅱ－外科』・『検査・薬理学』 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
配布プリントの内容を小まめに復習したり、テキストを自分なりにまとめてみてください。						
《履修に当たっての留意点》						
途方もない分量に思えても、心を開き、好奇心を持って接し続けていけば、必ず制覇できる内容だと思います。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。	
		各コマに おける 授業予定	感覚器などとその疾患・検査法・治療薬		当該範囲の復習。	
第 17 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。	
		各コマに おける 授業予定	感覚器などとその疾患・検査法・治療薬		当該範囲の復習。	
第 18 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。	
		各コマに おける 授業予定	生殖器系とその疾患・検査法・治療薬		当該範囲の復習。	
第 19 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。	
		各コマに おける 授業予定	生殖器系とその疾患・検査法・治療薬		当該範囲の復習。	
第 20 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。	
		各コマに おける 授業予定	生殖器系とその疾患・検査法・治療薬		当該範囲の復習。	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	皮膚とその疾患・検査法・治療薬		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	皮膚とその疾患・検査法・治療薬		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	血液とその疾患・検査法・治療薬		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	血液とその疾患・検査法・治療薬		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫系とその疾患・検査法・治療薬		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫系とその疾患・検査法・治療薬		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫系とその疾患・検査法・治療薬		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	感染症とその検査法・治療薬		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項について学び、当該範囲の過去問に正答できるようになる。	テキスト 配布プリント	前回の復習。 当該範囲の復習。
		各コマにおける授業予定	感染症とその検査法・治療薬		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ問題にて 60 % 以上の正答率を達成する。	テキスト 配布プリント	これまでの復習
		各コマにおける授業予定	まとめ問題の実施		